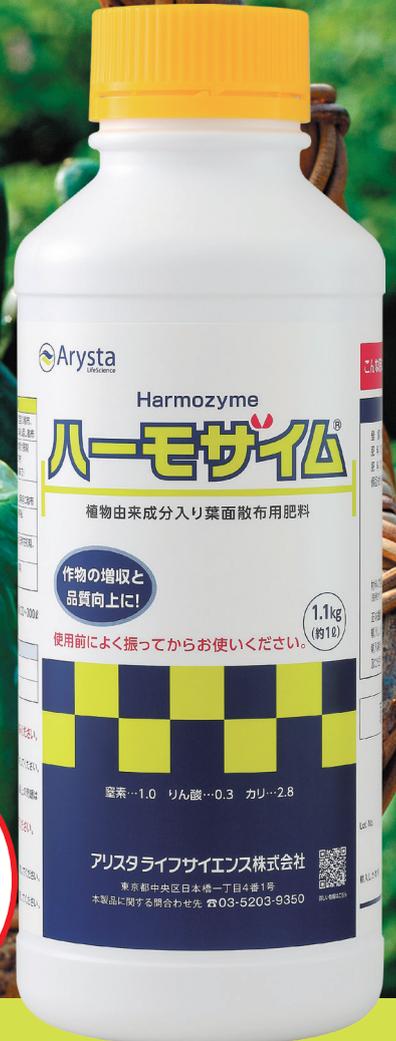


# ハーモザイム<sup>®</sup>

1.1kg  
(約1ℓ)

とうもろこし抽出成分配合  
窒素・1.0 リン酸・0.3 カリ・2.8

花とびや  
不稔対策に!!



植物由来  
葉面散布用  
肥料

## ハーモザイムの 4 つの特長

着花・結実の  
活性アップに!

果実肥大と  
転流促進に!

成り疲れなどの  
ストレス対策に!

ハチや天敵との  
併用も安心!

作物の増収と  
品質向上に!



植物由来葉面散布用肥料  
とうもろこし抽出成分配合

# ハーモザイム®

## 植物のやる気スイッチをオン!

ハーモザイムは散布時期により異なる作用が期待できます

作物の生育ステージ

### ハーモザイムの作用

発芽 → 栄養生長 → 生殖生長 → 果実成熟

ミネラル吸収の促進	発芽	栄養生長	生殖生長	果実成熟
細胞分裂(根、茎、葉)の促進	発芽	栄養生長	生殖生長	果実成熟
クロロフィルと光合成の活性化	発芽	栄養生長	生殖生長	果実成熟
着果と果実肥大を活性化	発芽	栄養生長	生殖生長	果実成熟
果実肥大のための栄養素や糖・でんぷんの蓄積を促進	発芽	栄養生長	生殖生長	果実成熟



越冬栽培の日照不足に!

盛夏の草勢低下に!

### ハーモザイムの基礎評価

ハーモザイムを与えた植物は、植物ホルモンであるサイトカイニンを生産するための酵素タンパク質の活性が促されることがメキシコ アントニオナロ国立農業自治大学の基礎的評価により明らかにされました。

### サイトカイニンとは(参考情報)

- 植物の細胞分裂に必須の植物ホルモン。
- 植物体内では、根で作られ、水分と一緒に地上部へ移動します。
- 葉の老化を抑制し、光合成を活性化します。
- 側枝の伸長を促進します。(オーキシンとのバランスによる)
- 豆類の莢落ちを抑制します。

### ハーモザイムの効果

ハーモザイムでサイトカイニンの生産が活性化され、着花・結実の活性化、果実肥大と転流促進、成り疲れなどのストレスの軽減に効果的です。

### きゅうりでの試験事例

調査期間: 2016年7~9月

試験地区: 福島県

ハーモザイム処理: 栽培期間中、1,000倍液を計11回散布(1回の散布量は250ℓ/10a)

	調査期間中の10a当りのA品収穫量(トン)
ハーモザイム	4.1(127%)
慣行栽培	3.2(100%)



**A等級品127%に増収(対無処理) 曲がり果の改善にも!**

**ここがポイント** きゅうりの側枝を活性化し、子づる、孫づるをスムーズに発生させます。それに伴い、着果数も増えていきます。

**使い方** きゅうりは、果実肥大のスピードが速いので、1週間~2週間おきに1,000倍液の散布をお勧めします。

### えだまめでの試験事例

試験年: 2016年(は種 3月、収穫 6月)

試験地区: 福岡県

ハーモザイム処理: 開花初期(5月)に1,000倍液を1回散布(100ℓ/10a)

	全重収量(1株当たり平均)	子実数/莢	
		3粒以上	2粒以上
ハーモザイム	162g(131%)	32%	76%
慣行栽培	123g(100%)	25%	68%



**収穫莢重量131%に増収(対無処理) 3粒出現率もアップ!**

**ここがポイント** 受粉直後の急激な細胞分裂をサポートするのがサイトカイニンの役目です。この時期の落莢を減らすことが増収のポイントです。

**使い方** 開花前(着蕾期)から開花初期の間に、1,000倍液を1回処理すれば十分です。

### 標準的な使用方法

通常、1,000倍液を葉面散布してください

対象作物	使用量	施用時期
果菜類	50~100mℓ /10a	最初の開花時期に第1回目の散布、その後2~3週間ごとに繰り返し散布
葉菜類		3回散布: 2~3対の本葉が展開した後、2週間おきに散布(結球野菜は結球開始期まで)
果樹(りんご、なし、もも、うめ、くり、かんきつなど)		2~3回散布: 開花時、開花後(花弁脱落時)、幼果期に散布
ぶどう		3回散布: 開花初期、結実後、肥大初期
豆類(えんどうまめ、大豆、えだまめ、他)		1~2回散布: 着蕾期から開花初期、その後2~3週間後
穀類	1~2回散布: 分けつ終期、止め葉展開期	

### 使用上の注意

《使用方法》ご使用前に注意事項を必ずお読みください。

- 使用前によく振ってからお使いください。 ● 使用量に合わせ散布液を調製し、使いきってください。
- 調製した散布液はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。

《安全使用上の注意》飲用不可(飲まないでください)

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● 小児の手の届くところには置かないでください。 ● 誤飲などのないように注意してください。
- 開栓後は速やかに使用してください。 ● 原液は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は水洗し、眼科医の診察を受けてください。 ● 直射日光を避け、なるべく冷暗所に密封して保管してください。

アリスライフサイエンス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目4番1号

TEL 03-5203-9350 FAX 03-5203-9349

ハーモザイム

検索